

第3次草津市男女共同参画推進計画(後期計画)における数値目標の状況

項目	H20年度 計画当初の数値	目標値	H26年度 実績	H27年度 実績	H28年度 実績	H29年度 実績	H30年度 実績	令和元年度 実績	担当課	目標達成のための 具体的な取り組み	評価
1 草津市男女共同参画推進条例の浸透	—	50%	43.0%◆① 【参考値】					43.5%★	男女共同参画課	広報くさつ等で条例啓発に努めた。特に令和元年度は、条例施行10周年であったことから、記念事業を実施するなど年間を通して啓発を行った。	目標50%に対し実績は43.5%と概ね達成しているが、「だいたい内容を知っている」が6.1%、「聞いたことがあるが内容は知らない」37.4%で、条例の内容も含めた周知が不足している。
2 「男は仕事、女は家庭」と考える市民の割合	41.2%◇	25%	41.9%◆					36.8%★	男女共同参画課	広報くさつや男女共同参画啓発紙「みんなで一歩」で男女平等意識の啓発に努めた。	計画当初の41.2%より36.8%と減少したものの、目標の25%には届いておらず、更なる啓発が必要である。
3 「男女共同参画社会づくり副読本」の活用率	63.2%	100%	94.7% (18校/19校)	100.0% (19校/19校)	85.0% (17校/20校)	90.0% (18校/20校)	80.0% (16校/20校)	95.0% (19校/20校)	男女共同参画課 児童生徒支援課	男女共同参画教材の計画的な活用を学校訪問で周知した。	令和元年度実績95.0%は目標値には達していないものの、計画当初と比較して高くなった。他の教材を使用している学校もあり目標項目の見直しが必要と思われる。
4 30～34歳(子育て世代)における女性の労働力率	58.0% (H17国勢調査)	65% (H27国勢調査)		70% (H27国勢調査)					商工観光労政課 男女共同参画課	・コミュニティビジネス育成費補助金や創業コーディネートによる創業支援および就業資格取得支援補助金による再就職を希望する方の就労促進を行った。(商工観光労政課) ・女性のチャレンジ応援塾や女性の就労支援学習会等を実施し女性の就労促進を行った。(男女共同参画課)	最新の国勢調査(平成27年度)において目標値の65%を上回る70%となった。今後も女性の労働力率の上昇に努めたい。
5 ワーク・ライフ・バランス推進企業に登録している市内事業所の割合※	4.0% (12社)	10% (31社)	4.3% (13社)	4.3% (13社)	4.5% (14社)	4.5% (14社)	4.9% (15社)	5.5% (17社)	商工観光労政課	・滋賀県ワークライフバランス推進企業への登録案内チラシを配布し、啓発に努めた。(商工観光労政課) ・ワークライフバランスに関する講座開催や企業向けのアンケート調査を実施した。(男女共同参画課)	計画当初の平成20年度と比較すると増加しているが、目標達成には至らず、今後も啓発の継続に努めたい。特定の業種が登録する傾向があり目標項目の見直しが必要と思われる。
6 待機児童数(4月1日時点)	45人	0人	91人	33人	0人	2人	0人	70人	幼児課	待機児童の解消に向けて、志津・山田幼稚園をこども園化し、小規模保育施設を2施設開設するなど待機児童を減少させるべく努めた。	平成30年度までは低い数であったが、令和元年度は高い数値となってしまった。保育ニーズを適切に把握しながら、施設整備や定員の見直しを進め、目標の0人を達成できるよう努めたい。
7 「配偶者暴力相談支援センター」を知っている人の割合	16.6%◇	60%	17.6%◆					14.9%★	男女共同参画課	広報くさつや男女共同参画啓発紙「みんなで一歩」により周知に努めた。	目標値と実績値と著しくかい離している。「配偶者暴力相談支援センター」を知らなくても、他の相談窓口を知っていれば、当センターにつなげることができるため目標設定について検討する必要がある。
8 市の乳がん、子宮がんの検診受診率(乳がん)	6.9%	22% (参考値13.0%)	17.5%	19.1%	19.8% (全人口) 10.5%	— (全人口) 10.5%	(全人口) 10.5%	(全人口) 12.0%	健康増進課	無料クーポン券対象者の拡大、がんの種類ごとに個別勧奨通知を行い、がん検診の啓発・受診者の増加に努めた。	徐々に受診率が伸び、個別に勧奨通知を実施することで一定の効果がみられた。
市の乳がん、子宮がんの検診受診率(子宮がん)	14.8%	26% (参考値13.9%)	24.6%	26.3%	22.6% (全人口) 11.4%	— (全人口) 11.8%	(全人口) 11.9%	(全人口) 13.4%	健康増進課	無料クーポン券対象者の拡大、がんの種類ごとに個別勧奨通知を行い、がん検診の啓発・受診者の増加に努めた。	徐々に受診率が伸び、個別に勧奨通知を実施することで一定の効果がみられた。
9 しきたりや慣習について男女が平等であると感じる市民の割合 (充分平等・ある程度平等と回答した市民の割合)	21.4%◇	50%	22.7%◆ (充分平等1.8/ ある程度20.9)					8%★② 【参考値】	男女共同参画課	広報くさつや男女共同参画啓発紙「みんなで一歩」で男女平等意識の啓発に努めた。	アンケートの回答選択肢を変更したため参考数値となるが、地域における男女の平等意識は低く啓発を今後も継続していく必要がある。
10 市全体の審議会等における女性委員の割合	27.0%	50%	35.1%	36.0%	36.9%	36.1%	37.1%	39.3%	男女共同参画課	委員委嘱の際に、男女比率が満たない場合は今後の対応策を各所属でも検討する他、男女共同参画課でもコメントを出すよう務めた。	計画当初の27%から13.6ポイント増加した。男女比50%という目標達成のためには、今までの対応だけではなく、より一層の啓発や対応策を講じる必要がある。

- ◇「草津市男女共同参画についてのアンケート」(2009年(平成21年)1月)より。
◆「草津市男女共同参画についてのアンケート」(2014年(平成26年)12月)より。
◆①「草津市男女共同参画推進条例の浸透」については、「草津市男女共同参画推進計画」を知っている人の割合を参考値として示す。
★「草津市男女共同参画についてのアンケート」(2019年(令和元年)9月)より。
★②「社会通念・慣習・しきたり等の分野で男女が平等であると感じる市民の割合」の結果(H26年度調査時と比べて回答選択肢が違ったため参考値としている)

※ 草津市内の事業所で、従業員が10人以上で企業内同和問題研修担当窓口を設置している事業所数に対する割合
(計画当初の平成20年度で該当する事業所は300社) 【平成30年度】309社【令和元年度】308社

※ 乳がん、子宮がんの検診受診率については、平成28年度より算出方法が変更されたため、受診率が低下しています。
平成27年度まで 対象者(分母) 22年国勢調査の対象女性人口ー(女性就業者数ー第1次産業女性就業者数)
平成28年度から 対象者(分母) 各年度3月31日時点の対象女性人口
対象者年齢 乳がん…40歳以上 子宮がん…20歳以上
目標値について、現在の算出方法にて換算した数値を参考値としております。